

2019年11月12日

メ〜テレ Premium Concert 2020 2020年1月13日(月・祝)開催!

石丸幹二、荻野目洋子、サラ・オレイン、東儀秀樹出演、一夜限りのプレミアムなコンサート♪
チケット好評発売中!

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）では、新春、新たな時代の幕開きに相応しく、人の生きる喜びや情愛を描いた音楽に乗せて、彩り豊かに世界を旅する一夜限りのプレミアムなコンサートを2020年1月13日（月・祝）、愛知県芸術劇場大ホールで開催します。

「for you・・・」（高橋真梨子 楽曲）、「コーヒー・ルンバ」、「越天楽幻想曲」、「誰も寝てはならぬ」（「トウランドット」）、「ダンシング・ヒーロー」、「秋桜」（山口百恵 楽曲）、「SHE」（映画「ロケットマン」の恋人より）、「タイム・トゥ・セイ・グッバイ」、「ユー・レイズ・ミー・アップ」など……。選りすぐりの楽曲を演奏予定です。※曲目は変更になる可能性があります。

チケットは各プレイガイドで好評発売中！たくさんのご来場をお待ちしています。





<イベント概要>

- イベント名 : 「メ〜テレ Premium Concert 2020」
- 日 時 : 2020年1月13日(月・祝)17:00 開演 ※開場は開演の45分前
- 会 場 : 愛知県芸術劇場大ホール (名古屋市東区東桜1丁目13-2)
※地下鉄東山線・名城線 栄駅直結
- 出 演 : 石丸幹二 / 荻野目洋子 / サラ・オレイン
- 雅 楽 : 東儀秀樹
- 指 揮 : 角田鋼亮
- 演 奏 : セントラル愛知交響楽団
- 主 催 : メ〜テレ
- 企画・制作 : NHK プラネット
- 料 金 : S席 : 9,800円、A席 : 7,800円 (全席指定・税込) ※未就学児入場不可
- 公式サイト : <https://www.nagoyatv.com/event/entry-18420.html>



【出演者プロフィール】

★石丸幹二

東京音楽大学でサクソ、東京藝術大学で声楽を学ぶ。1990年～2007年、劇団四季在籍。ミュージカル界をけん引する俳優として、『オペラ座の怪人』『美女と野獣』『ラブ・ネバー・ダイ』『ジキル&ハイド』等に出演する。ソロアルバム「My Favorite Songs」「My Musical Life」等のほか、オーケストラコンサートをライブ収録した「A NEVENING with KANJI ISHIMARU」やリユート奏者つのだたかしの「武満徹のうた」等をリリースする一方、オーケストラからジャズまで多彩にコンサートを展開する。現在、テレビ朝日「題名のない音楽会」司会、TOKYO FM「Grand Seiko THE NATURE OF TIME」(土曜12時)パーソナリティを務める。クラシック音楽とは朗読で関わる事が多く、ストラヴィンスキー「兵士の物語」グリーグ「パール・ギェント」など、声の表現の多様性を探っている。

★荻野目洋子

1984年デビュー。以来、42枚のシングルと31枚のアルバム(ベスト盤含む)を発表。シングル「ダンシング・ヒーロー」「六本木純情派」「コーヒー・ルンバ」、アルバム「NONSTOPPER」(1987年オリコン年間アルバム1位)など、数々の大ヒットを放つ。一昨年後半の「ダンシング・ヒーロー」のリバイバルヒットは記憶に新しく、2017年ビルボード週間国内チャート総合2位獲得(10/2付)、2017年第59回輝く!日本レコード大賞特別賞を受賞、2018年初のカラオケ首位獲得(1/15付オリコン週間ランキング)。2018年第32回日本ゴールドディスク大賞特別賞受賞を獲得している。一方では、23年振りに主演ドラマ『ネット歌姫』に出演(2019年1月NHK BSプレミアム)。2019年4月にデビュー35周年を迎えた。

★サラ・オレイン

オーストラリア出身。ヴォーカリスト、ヴァイオリニスト、作詞作曲家、コピーライター、翻訳家。英語、日本語、イタリア語、ラテン語を操るマルチリンガル。音が色で見える共感覚者でもある。「オーストラリア now」親善大使、「九州国立博物館」応援大使。シドニー大学在学中に東京大学に留学。在学中にゲームソフト「ゼノブレイド」エンディングテーマ曲“Beyond the Sky”（光田康典氏作曲）のヴォーカルを担当。2012年ユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。発売されたアルバムは全てチャート1位を獲得。2015年「太陽の家」50周年記念式典にて上皇上皇后両陛下の御前で国歌独唱。2018年NHK大河ドラマ『西郷どん』では劇中歌「我が故郷」と「西郷どん紀行～薩摩編～」を歌唱。2019年NHKよるドラ『腐女子、うっかりゲイに告（コク）る。』に出演し、女優デビューを果たす。2019年イタリア・ミラノ ヴェルディ劇場にて自身初のヨーロッパ公演を行い、観客を魅了。7月サントリーホール 大ホールで行われた「Sarah Àlainn Symphonic Concert 2019」では自身が脚本・舞台演出をトータルで手がけた。ベストアルバム『Timeless』発売中。

★東儀秀樹

東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた楽家である。宮内庁楽部在籍中は、宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演するほか、海外での公演にも参加、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。1996年デビューアルバム「東儀秀樹」で脚光を浴び、以後次々とアルバムをリリース。日本レコード大賞企画賞、ゴールドディスク大賞 純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー、平成16年芸術選奨文部科学大臣新人賞等、受賞歴多数。雅楽器の持ち味を生かした独自の表現に情熱を傾ける。2019年8月、オリジナル作品や雅楽の古典曲を現代風アレンジした作品、また、昨年世界中で人気再燃したQUEENのカバー曲等東儀秀樹の世界観と魅力を存分に楽しめるアルバム「ヒチリキ・ラブソディ」をリリース。 <http://www.togihideki.net/>